

顔色・食欲・機嫌をチェック

# 「子どもの急病」

取材協力  
香川県小児科医会

子どもたちの急な病気は、親なら誰しも不安なもの。でも慌てず、しっかりと病状をチェック。特に注意したいのは顔色、食欲、機嫌です。とくに子どもの場合、日中からその兆候が表れていて、夜に気になることが多いものです。



**食欲** 母乳や食事嫌がる  
飲み物、食事を嫌がるときは病気の  
前兆が考えられます。無理強い  
せずに、様子を見ましょう。

**顔色** 青白く目がトロン  
顔色が青白く、目つきがトロンとし  
ていたら、病院へ。顔が赤ければ  
発熱の可能性もあり。

**行動** 元気がない  
機嫌が悪かったり、すぐに  
横になりたがるなど元  
気がないのは病気のサイン。普段との行動の違い  
に気をつけましょう。

**睡眠** 寝つきに変化  
睡眠には個人差がありま  
すが、「普段と違う睡眠」  
は要注意。



こんな  
症状は  
要注意

**ウンチとオシッコ** 色や回数が違う  
ウンチやおシッコの違いは病気のサイン  
かもしれません。普段から状態をよく観察  
しておきましょう。

**呼吸** 「ゼーゼー」と音  
音をたてて呼吸したり、みぞおち  
がへこんでいるときは、呼吸器系  
の病気が疑われます。

**咳**  
子どもはよく咳をします。風邪以外にも、気温  
の変化や乾燥、たばこの煙、ほこり、ペットの毛など  
も原因。咳をしても苦しそうで、すぐに治ま  
るようであれば心配はいりません。

**注意**  
オットセイの鳴き声のような咳 ● 激しく咳込む  
咳がひどく、夜眠れない ● 呼吸困難に陥っている  
激しい咳で嘔吐し、食べたり飲んだりできない

**こんな症状がなければ大丈夫**  
苦しまず、すぐ  
治まるなら心配無用

**嘔吐・下痢** 大人と異なる特徴  
嘔吐(おうと)や下痢だけで問題があるとはいえ  
ません。発熱や食欲なども観察しましょう。

**注意**  
こんな症状がなければ大丈夫  
● 吐いたものやウンチに血が混じっている ● 頭を打っ  
た後に吐いた ● ぐったりして意識がもつろうとして  
いる ● 水分がとれない ● 目がくぼんでいる ● オシッ  
コが出ない

**発熱** 高熱でも食欲あり  
機嫌よければ大丈夫  
発熱は体が病気を治すための正常な反応です。  
熱が高くても食欲があり、機嫌がよければ、慌てて  
病院を受診しなくても大丈夫。

**注意**  
こんな症状がなければ大丈夫  
● 3カ月未満の発熱 ● 顔色が悪く、ぐったりしてい  
る ● オシッコが出ない ● 呼吸困難に陥っている ● 泣  
き方がおかしい ● 水分を受け付けない ● 一日中ウト  
ウトしている

**香川県からのお願い**  
● ルールや受診マナーを守る  
医療関係者への理不尽な暴  
言やほかの患者への迷惑行  
為はやめましょう。

● 診療時間内に受診する  
地域の中核病院は夜間休  
日は重症患者の緊急の受  
け入れのため、限られたスタ  
ッフで救急体制を確保して  
います。症状が軽い場合は  
翌日にかかりつけ医を受診  
するか、夜間診療所や休日  
当番医を受診しましょう。

● 小児救急電話相談やこ  
どもの救急ホームページ  
を積極的に活用する

**救急車を呼ぶか  
迷ったら...**  
赤ちゃんをど  
のタイミングで  
病院に連れて行  
くべきか、夜間・  
救急診療を受  
けるべきなのか  
どうか、判断に迷う場合があ  
ります。

● けいれんが止まっても意識  
が戻らない  
● 唇や指先が紫色になり呼  
吸が弱い  
● 意識がおかしい  
● 起こしてもすぐに眠ってし  
まう  
● 目を開けていても視線が合  
わない  
● 痛みや刺激に反応しない。

このような症状がなく、熱  
が高かったり下痢や嘔吐が続  
いても、機嫌がよく、水分がと  
れていれば、様子を見て診療  
時間内の受診で問題ありま  
せん。



**夜間・救急診療について**  
病状が急変することの多い子ども  
のために、休日の指定医療機関や夜間救  
急医療機関などをあらかじめ確認して  
おきましょう。受診の際には事前に電話  
連絡が必要です。

**夜間対応の医療機関**

- 高松市夜間急病診療所  
高松市桜町1丁目9番12号  
☎087-1839-2299  
診療時間／午後7時30分～午後11  
時30分 ※ 診療時間内であれば電話  
連絡は不要
- 高松市歯科救急医療センター  
高松市福岡町3-36-23  
☎087-185-11167  
診療時間／「月～土」午後7時30分  
～午後9時30分「日・祝」午前9時  
～午後12時、午後1時～午後4時
- 大川地区小児夜間急病診療室  
さぬき市寒川町石田東甲387-1  
☎0879-143-2521  
診療時間／午後7時30分～午後11  
時30分
- 香川小児病院  
普通寺市普通寺町2603  
☎0877-162-0885  
診療時間／夜間  
● 三豊総合病院  
観音寺市豊浜町姫浜708  
☎0875-152-3366  
診療時間／午後7時～午後11時

**休日や夜間に急な病気で困った  
場合の電話相談**  
休日や夜間の急病で対応に困ったと  
きは、「#8000」をプッシュすると、  
香川県の当番窓口へ自動転送され、小  
児科医師や看護師への電話相談がで  
きます。

受付時間／毎日午後7時から午後11  
時まで ※ プッシュ回線 携帯電話(主要  
携帯電話会社3社)からの利用が可能。  
それ以外は ☎087-1823-  
1588

## 子どもの健康管理や育児についての 悩み・不安には…

県内には育児中のパパやママを支援する子育て支援サービスがたくさんあります。忙しい時、困った時、不安な時…、上手に利用してもっと子育てを楽しみましょう。

### 育児相談から親子の交流まで

#### ■地域子育て支援センター

子育ての専門施設である保育所等に併設し、入所園児に限らず地域の乳幼児子育てで家庭の悩みや相談が可能。園庭開放や育児サークルの開催なども。

#### ■つどいの広場・かがわの広場

乳幼児を中心とした親子が集い、交流や情報交換を行っている拠点です。高松市、丸亀市、坂出市、善通寺市、観音寺市、さぬき市、三豊市、宇多津町、まんのう町に設置されています。詳しくは県や各市町にお問い合わせください。

### 専門の相談窓口

#### ■保健所・保健センター

各市町保健センター、各保健所では、乳幼児の発育や発達、言葉などの相談事業や親子教室などを行っています。

※この他にもさまざまな育児などについての相談機関があります。詳しくは県や各市町にお問い合わせください。

#### ■児童家庭支援センター

児童養護施設に併設され、子育てについての疑問など子どもと家庭についての相談を、地域の関係機関と一緒に考えて考え、問題の解決に努めています。児童家庭支援センターけいあい ☎0879-25-6067

#### ■児童相談所

子どもや家庭に関するさまざまな相談（子育ての心配や不安、言葉や発達の遅れが心配など）に応じます。県子ども女性相談センター ☎087-862-8861  
県西部子ども相談センター ☎0877-24-3173

#### ■子育てホットライン

家庭教育の悩みや不安に関する電話相談に、相談員が応じています。県教育委員会 ☎087-861-4951

#### ■子どもホットライン

いじめなど、子どもからの電話相談に、相談員が応じています。県教育委員会 ☎087-835-7867

■問い合わせ／県健康福祉部子育て支援課 ☎087-832-3287

## 病児・病後児保育 働くパパ・ママはどんどん利用!

働くパパやママが直面する壁のひとつが子どもの病気。保育所では、子どもが病中（発熱など）や病後（回復期）の場合は預かってくれませんよね。そんな時は一人で無理せず、保護者に代わって子どもを預かってくれる「病児・病後児保育」を利用しては？ 県内でも小児科医院や保育所に併設して9つの施設があり、看護師や保育士が保育に当たっています。利用料金の目安は1日当たり2000円前後。詳しくは下記の実施機関にお問い合わせください。

### 【病児・病後児保育実施機関】

(2009年2月1日現在)

施設名	電話番号
トビウメ小児科医院附属病児保育室「子どもの家」(高松市伏石町)	087-865-3111
西岡医院小児科病児保育室「レインボーキッズ」(高松市寺井町)	087-885-2863
小林内科小児科医院附属病児保育室「すこやかルーム」(高松市屋島西町)	087-844-8156
はらこどもセンター病後児保育室(高松市牟礼町)	087-845-0234
カナン子育てプラザ21(善通寺市生野本町)	0877-62-3695
にしかわクリニック病児保育室「げんぎになあれ」(善通寺市木徳町)	0877-63-6500
小児科内科三好医院病後児保育室「チャイルド・ケアシステム・エム」(東かがわ市)	0879-25-3503
土庄町病児・病後児保育室「げんきっこ」(土庄町中央病院内)	0879-62-1211
綾川町病児保育室「うぐいす」(綾川町国民健康保険保健福祉センター内)	087-876-1185

## 乳幼児医療制度 立て替えなしで利用しやすく!

県では、市町が交付する乳幼児医療費受給資格証を持つ6歳未満の乳幼児が医療を受けた場合、「乳幼児医療費支給事業」として自己負担額の一部を助成しています。ただし、これまでは原則として立て替え払いでしたが、昨年8月から立て替えが不要に！ 子育て家庭にとって、ますます利用しやすくなりました。なお、一部の市町では対象年齢を引き上げていることがあります。加入している健康保険の種類によっては、立て替え後に市町に請求しなければならない場合もあります。詳しくはお住まいの市町にお問い合わせください。

### 【受診にあたっての注意事項】

- 1 医療機関を受診する際、乳幼児医療費受給資格証を提示してください。
- 2 住所を変更した場合、変更手続きを行ってください。
- 3 県外へ転出した場合は受給資格がなくなります。受給資格証を交付した市町に返納してください。※県内であっても市町が変更した場合、年齢によっては受給資格を失うことがあります

# 「みんな子育て応援団」

県が少子化対策などの一環で1999年に始めた「みんな子育て応援団」がリニューアルしたのは1年半前。四国新聞社との協働で実施する子育て支援事業としてパワーアップし、「社会全体で子育て家庭を支援する気運を高めたい」という設立当初の願いが、地元香川にしっかりと根付いたようです。

## みんな子育て応援団



### みんなトクだね

#### 応援団

商品の割引や特典等のサービスを提供するお店。子ども関連の業種はもちろん、美容院などサービス業、ケーキ店や精肉店などの食料品店など加盟店は600店以上。

#### 主なサービス(一例)

料金や入会金の割引、ポイントサービスの加算、お菓子のプレゼントなど

### 子どもとおでかけ

#### 応援団

授乳室の設置やベビーカーの貸し出し、粉ミルク用のお湯の提供など、子どものおでかけを支援する設備や付加的サービスを提供するお店です。

#### 主なサービス(一例)

妊婦さんの優先駐車場設置、授乳室・おむつ替えコーナー・ベビーベッドなどの設置、ベビーカーなどの貸し出し、ミルク用のお湯の提供など

### いつも安心

#### 応援団

地域子育て支援活動として、相談窓口の開設や育児サークル活動を実施する施設です。

#### 主なサービス(一例)

一時保育などを実施している保育所、つどいの広場、児童館、保健センター、図書館、公民館など

**会員になると利用できる！  
充実の子育て支援サービス**

「みんな子育て応援団」は、趣旨に賛同・登録した店舗や企業、団体が子育てに役立つ割引や付加的サービスなどを提供し、子育て家庭の方には「KAGAWA KID'S CLUB」の会員になることで、それらを利用できるというシステムをとっています。

事業内容は、「子どもとおでかけ応援団」「いつも安心応援団」「みんなトクだね応援団」の3つに大別され、2009年2月現在で登録加盟店舗数は約1000件、会員数は4500人を超えています。加盟店舗や企業の情報は、インターネットサイト「みんな子育て応援団」で公



KAGAWA KID'S CLUB

すてきな特典やサービス満載！

## みんなトクだね応援団

現在も加盟店が増加している「みんなトクだね応援団」。会員証を見せるだけでさまざまな特典やサービスを受けることができます。

賢くお得に子育てしたいみなさんのために、その一例をご紹介します。

#### ご利用方法



会員登録



会員証発行

お子様ランチが  
10% OFF!!



応援団検索でおトクな情報・サービスを検索!



お店で  
会員証を  
見せてね!

[高松市/居酒屋] **かつえご**



小学生以下の子ども全員に、ソフトドリンク1杯無料



焼き鳥が1本90~200円で楽しめます。特に、ふくらジュシーなつくねは子どもにも大人気。旬の魚料理など、日替わりで登場する季節メニューのチェックもお忘れなく。週末は満席になることもあるので、予約がおすすめです。

**使用条件** KAGAWA KID'S CLUB会員証を提示  
**DATA** 高松市鬼無町鬼無449-6 TEL087-881-5334 17時~24時(L023時) 水曜定休

[宇多津町/豆腐] **くぼさんのとうふShop**



豆腐と油揚げ類5%引き



昔ながらの製法で素材のおいしさを大切にしたい大豆製品作りこだわりのお店。契約栽培の国産大豆と天日塩から得られる海水にがりだけを使用し、豆腐を作っています。油揚げ加工品の油は、圧縮ゴマ油となたね油を使用し、健康に気遣っています。

**使用条件** KAGAWA KID'S CLUB会員証を提示  
**DATA** 宇多津町浜三番丁25-19 TEL0877-49-5580 10時~18時30分 日曜定休

[高松市/ショップ] **may be II**



10%引き



店内にはワンピースやジャケット、ブルゾンなど、流行のアイテムがズラリ。メーカーのサンプル品や、人気が高くて作りすぎた品、少々難ありなモノなどを直接仕入れるため、定価の70~50%という驚きの価格で旬のアイテムが手に入ります。

**使用条件** KAGAWA KID'S CLUB会員証を提示  
**DATA** 高松市東山崎町438-4 TEL087-847-3774 11時~20時(土日祝は19時まで) 火曜定休



**KAGAWA  
KID'S CLUB**

会員登録  
**無料**

## 会員になろう!

「KAGAWA KID'S CLUB」に会員登録(無料)すると、会員証が発行され、それを活用すれば…。早速登録して、子育てをお得に楽しみましょう。

### 会員登録・サイトへのアクセス

- 1 URLを直接入力(PC、ケータイサイト共通)  
<http://kosodate.shikoku-np.co.jp>
- 2 空メールを送信  
k@4594946.jpあてに空メールを送ると、URLが記載されたメールが届きます。
- 3 バーコードでアクセス → 



開かれており、パソコンや携帯電話から無料で閲覧したり会員登録が可能です。

**地域の子育てコミュニティ**

ネット上で地元ならではの情報交換が行われているのが、リニューアル後に新設された子育てコミュニティ。いわゆる「SNS」(ソーシャル・ネットワークング・サイト)という形をとっており、会員が自分専用のサイトを持って日記をつづったり、子育ての悩みや、いざというときに役立つ情報を交換し合ったりしています。それは、いわば昔の「井戸端会議」のようなもの。悩みを一人で抱え込まずに共有し、喜びを分かち合うことで子育ての不安感が解消できるようです。

病院や地域ごとのコミュニティもあり、初めて妊娠した方から、仕事と子育てとの両立に悩むお母さん、転勤族で香川の風習が分からないといった方まで、さまざまな環境で子育てに奮闘する子育て会員が参加。子育ての目線から生まれた地域密着型の情報が、あらゆる「困った」「知りたい」の要望に応えてくれます。

SNSは、KAGAWA KID'S CLUBの会員に登録するだけで、無料で利用できます。

SNS  
ソーシャル・ネットワークング・  
サイト

## 子育てコミュニティで 口コミ情報検索!



同じ悩みを持つ主婦と仲良くなった!

主婦口コミのお得情報見つけた!

メルマガで最新お得情報GET!

## おすすめコミュニティ

### 「教えて!香川の病院」

「どこの小児科がいい?」「子供のけがを診てもらうには?」「子供に優しい歯医者はある?」など口コミならではの情報を交換

### 「助産師さん・保健師さんの知恵袋」

母乳育児、夜泣き、皮膚トラブル、離乳食、便秘などあらゆる悩みにヒントを

### 「男の子もつママ・パパ」

男の子を持つパパ、ママならではの楽しい話題で盛り上がる

### 「香川の安全安心」

治安が心配…不審者などから子供たちを守るには?

### 「ママになってもキレイでいたい!」

妊娠太りや妊娠線の悩み、産後ダイエットなどの情報を交換しませんか

## 伝統行事を通じて異世代交流

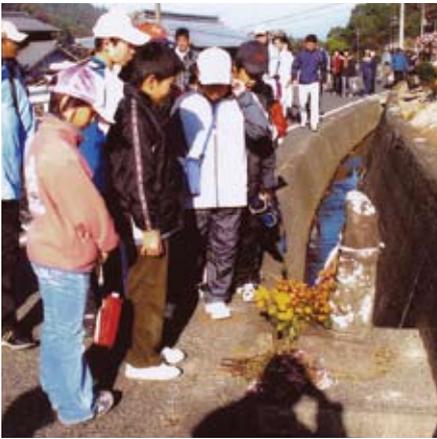
# 子どもがのびのび育つ

## 地域づくり

観音寺市粟井町で活動する「粟井地区青少年育成会」。スローガンに「地域と一体となった大人と子どもの育成づくり」を掲げ、地域と住民、子どもの連携強化による健全育成を目指しています。中でも、地域の伝承行事を中心とした異世代交流が盛ん。その活動のいくつかを取材しました。



保護者や地域のお年寄りと一緒に、真剣な表情で丁石小屋を作る子どもたち。自分の担当した丁石小屋にサインをして完成です



丁石ウォーキングの様子。最初は丁石のことを知らなかった親子も、実際に見て回ることによって郷土の歴史への興味が増えました

### 丁石の保護活動から 地域の歴史を知る

「おっちゃん、丁石（ちようせき）って何？」「お遍路さんのために、札所までの参道の一丁（約109坪）ごとに建てられた標石のことや。今度みんなで見に行こか。」

昨年末行われた丁石保護用小屋の制作活動は、風化が進んだ丁石をなんとかしたいという地域の人からの提案に、観音寺市立粟井小学校が育成会や家庭に働きかけ、「ふるさと歴史教室」の活動の一環として実現しました。

まずは丁石のことを知ろうと「丁石ウォーキング」を開催。地域のお年寄りや保護者、子どもが、現存する丁石を実際に見て回りました。粟井地区は丁石が残る数少ない地域。子どもからは「地域の歴史がよく分かった！」という声も。そして後日、大工さんらの指導を受け、子どもたちも慣れない手つきで金づちやのこぎりを手に小屋作りを体験しました。完成した小屋を前に満足げな表情の子どもたち。地域の歴史を知ると共に、異世代交流にもつながりました。

### 最後まで やり抜く精神を 身につける

粟井小学校では約35年前から毎年、「親子雲辺寺登山」を行っています。保護者も参加して粟井ダム付近の広場から約4・5キロの道のりを登ります。

元氣いっぱいの子どもたちは、どんどん頂上目指して登っていき



2007年に行われた親子雲辺寺登山の様子。クラスの半分以上の親子が毎年参加し、6年間皆勤の子どもには表彰状が贈られます

ます。早々と登頂した子は「やったー！」と汗を流しながらガッツポーズ。保護者の中には、自身も同小学校でこの行事に参加した思い出を持つ人も多く、親子そろって毎年楽しみにしているのだとか。行事を通して、達成感や努力することの大切さを学ぶことも健全教育に必要な取り組みといえそうです。

ほかにあいつつ運動や安心・安全パトロールなどの活動が行われています。「地域と学校、家庭が一丸とならなければ、健全な子どもは育てられない」と会長の合田功さん。大西宏和教頭は「行事や活動にできるだけ参加して、地域の良さを肌で感じてほしい」と話します。今後は中高生との連携や指導者の育成などを課題に、新しい活動も取り入れていくそうです。

# スポーツ★ Kids!

高松レスリングクラブ



## 20年余りで全国優勝レベルに成長!

マットの上であらゆる技を駆使して格闘する競技、レスリング。県内に、ここ数年で全国レベルの選手を輩出しているレスリングチームがあると聞いてやってきたのは、「高松レスリングクラブ」です。発足した約20年前は、まだ香川県にレスリング競技が浸透していないころでした。ところが今では、小学生だけでも31名の大きなクラブに成長。全国大会で優勝者を出すまでになりました。

練習場には、3歳から習い始めた子もいればまだ始めて半年に満たない子も多数います。練習を見守る保護者のなかには、「子どもが(レスリングを習い始めて以来)、体育のマット運動で模範演技に選ばれるようになった」という声もちらほら。発育の過程で習得すれば、身体機能が上がるよ

うです。

マットの上で、時に転びながらも思い切り技を掛け合う様子は、目にも留まらぬ素早さ! 「技はたくさんあるので、すべてを覚えなくてもいいのです。自分に合った技を見つければ、それを伸ばせばいいのです」とは、指導歴15年の山下忍さん。マットの上で思い切り転んだり跳ねたりする子どもたちの顔は、いきいきと輝いていました。

練習は、毎週土曜午前9時30分～同11時30分、日曜午後4時～同6時に、香川中央高校レスリング場で行われています。初心者でも挑戦したいという保護者の参加もOK。親子そろってマットの上で思い切り動けば、きずなも強まるはずですよ。

問い合わせ

山下 忍さん ☎087-833-7515



小学生メンバーのうち約半分が女子。みんな活発に技を掛け合っています



マットの上での実戦練習が一番楽しい! 高校生は、主に幼児や小学生の指導にあたります



全国少年少女レスリング大会で2007、08年とも優勝した竹下董さん(右)と弟の航生君(左)

イベント  
2009  
4月～7月

【見る・体験】

■食文化体験講座

「なつかしい昭和の食卓」

時／4月26日(日)午前10時～午後1時  
所／県立ミュージアム

数／24人※小学生以下は保護者同伴  
料／1000円

問／県立ミュージアム学芸課 087(822)0247

■全国グリーンアドベンチャー

五色台大会と昼の星空観望会

時／4月29日(祝)午前9時～午後2時半  
所／五色台少年自然センター

(高松市生島町)とその周辺  
数／先着100人※星空観望会は先着40人

料／無料※星空観望会は大人300円、小中高生は200円  
問／五色台少年自然センター 087(881)4428

■こどもの日の

「こどものためのコンサート」

時／5月5日(祝)午後2時開演  
所／サンポートホール高松第2小ホール

料／無料※ベビーカーでの入場可、全席自由

問／高松市文化芸術財団 087(825)5010  
■子ども歴史教室  
「柏もちづくり」&  
「よろいを着てみよう！」

時／5月5日(祝)午後1時～3時  
所／県立ミュージアム

数／柏もちづくりは先着30人、よろい着付けは先着10人※小学生未満は保護者同伴

料／無料  
問／県立ミュージアム学芸課 087(822)0247

■食文化体験講座「半夏生に食へる手打ちうどん」

時／6月27日(土)午前10時～午後1時  
所／県立ミュージアム

数／24人※小学生以下は保護者同伴  
料／1000円

問／県立ミュージアム学芸課 087(822)0247

■親子自然体験教室1  
「磯の生き物にふれよう！」

時／6月6日(土)午後1時～4時  
所／小原海岸(高松市亀水町)周辺

数／20組55人程度  
料／50円

対象／小学生とその保護者  
問／五色台少年自然センター自然科学館 0877(42)0034

■星を見る会(夜の部)  
時／5月16日(土)、6月6日(土)、7月18日(土)

所／五色台少年自然センター  
数／先着40人

料／大人300円、子ども200円、幼児以下無料  
問／五色台少年自然センター 087(881)4428

■野村万作・萬齋  
サンポート狂言会

時／7月21日(火)午後7時開演  
所／サンポートホール高松大ホール

料／一般7000円、小中高生3500円※未就学児入場不可、全席指定

発売日／会員4月17日(金)、一般4月21日(火)  
問／高松市文化芸術財団 087(825)5010

■日本昔ばなしのダンス  
演目「ねずみのすもつ」(振付／近藤良平)、「へっこきよめ」(振付／伊藤千枝)※終演後、近藤良平さん、伊藤千枝さんによるアフタートークあり(公演出演はなし)

時／9月27日(日)午後2時開演  
所／サンポートホール高松第1小ホール

料／一般3500円(前売り3000円)、3歳以上中学生以下5000円、親子券3200円(前売りのみ)※3歳未満の入場不可、全席自由

発売日／5月15日(金)  
問／高松市文化芸術財団 087(825)5010

【学ぶ】

■こども読書まつり

子どもの読書内容を深めるおはなし会、かみしばい会、工作教室

育児の日(19日)イベント

Enjoy! パパ・ママ～本とあそぼう～

- 4月19日(日) 午前10時～午後2時
- 高松市香南町・さぬきこどもの国



毎月19日は「かがわ育児の日」。さぬきこどもの国では、毎月19日、これから親になる人や子育て中の家庭・保護者を対象としたイベントを企画しています。参加者みんなで心と体をリフレッシュすることを目的に、年間を通じてマタニティーヨガ&コンサート、パパとクッキング、とっさの救急法など、多彩なイベントが企画されています。

4月19日のイベントは「Enjoy! パパ・ママ～本とあそぼう～」。本とあそぼう全国訪問おはなし隊が来場しキャラバンカーに積まれた本を自由に読めるほか、地域ボランティアらによる読み聞かせ、音楽と絵本を楽しむ「おはなしサウンドイッチ♪」などが行われます。

■問い合わせ／さぬきこどもの国 ☎087(879)0500

【遊ぶ】

■開園記念日の集い

時／4月29日(祝)午前10時～午後4時  
所／さぬきこどもの国

問／087(879)0500

■児童館フェスティバル  
時／5月3日(祝)

所／さぬきこどもの国  
問／087(879)0500

■こどもフェスティバル  
さぬきこどもの国の年間最大のイベント  
時／5月4日(祝)、5日(祝)  
所／さぬきこどもの国  
問／087(879)0500

# サンポート高松 界限

海と太陽に包まれる憩いの場

都市空間と海が調和し、他の町にはないロケーションが魅力のサンポート高松。食事やショッピング、コンサートが楽しめる高松シンボルタワーはもちろん、屋外に出ると昼間は散歩コース、朝夕は絶好の釣り場などとしても人気のエリアです。今回は親子連れにおすすめのスポットをご案内しましょう。



## 外も中も遊べる高松シンボルタワー

有名シェフの店が並ぶ天空ダイニングや高松拉麺築港(らーめんポート)、ショッピングフロア、コンサートホールなどを備え、サンポート高松の中核施設となっている高松シンボルタワー。タワー棟とホール棟からなるこの2つの棟を中心に、界限には「多目的広場」「大型テント広場」「アート広場」などの屋外イベント会場が整備されています。平日は一般開放されている(※主催者の利用中は占有)ので、親子の憩いの場にぴったり。JR高松駅も近く便利だから、休日のお出かけにおすすめです。



### ① 多目的広場

8000㎡の広さで、県木オリーブやケヤキ、サクラなどの木々を植樹した憩いの広場。中央には噴水があり、ふだんの散歩途中にも楽しい眺めです。西側には庵治石でできたステージもあります



### ② 大型テント広場

白い大屋根が特徴の屋外イベント会場。約1000㎡の大型テント部分、芝生部分、碎石部分に分かれ、さぬき高松まつりのピアガーデン会場、サンポート・ジャズ・フェスティバルのステージとしても知られています



### ③ デッキスガレリア

タワー棟とホール棟をつなぐオープンスペース。3階から4階へ上がるオープン階段は海を一望できる絶景スポット。週末を中心にステージイベントや展示会などを開催しています

問い合わせ / 指定管理者 シンボルタワー開発株式会社 ☎087-825-5128

## 親子で行きたいステージいっぱい



ミュージカルや演劇、クラシックコンサートなど多彩なステージが楽しめるシンボルタワー低層

▲ 昨年の「こどもの日のこどものためのコンサート」より

親子で参加できる自主文化事業を積極的に開催しています。例えば、「こどもの日のこどものためのコンサート」。世代を超えて音楽を楽しんでもらおうと2007年から毎年こどもの日に開催し、公募で集まった家族が歌声を披露するコーナーもあります。このほか今年も、万作の会による親子で参加する狂言ワークショップと狂言公演、人気振付家の近藤良平・伊藤千枝氏がストーリーをダンスでつづる「日本昔ばなしのダンス」、2007年に好評を博した「音楽の絵本～親子のためのクラシックコンサート」などを予定。また、お母さんにはうれしい託児室や授乳室も備えています。

問い合わせ / 高松市文化芸術財団 ☎087-825-5010



# 子どもと健康

## 軽症化した喘息とアトピー

香川県小児科医会 西川 清

以前は大変重症の喘息やアトピー性皮膚炎の症例が多く、治療も大変でした。ここ数年、両疾患とも軽症化してほとんどの子どもがごく普通の生活を送れるようになりました。

### 小児喘息 (気管支喘息、喘息性気管支炎)

以前は数年も長期に入院して治療を受ける子どもや、発作のために欠席したり、体育の見学をする喘息児がたくさんいました。吸入療法や抗アレルギー薬の進歩により、重症の喘息児はほとんどいなくなり、今では欠席や見学をする子どもは減り、スポーツも普通にでき、選手として活躍する喘息児も増えてきました。その理由として、喘息の原因が気管支の炎症であるということが証明され、それに対する治療法が確立したからです。以前は発作を何度も繰り返すことにより、気管支が赤くはれて炎症を起こし、敏感な状態になり発作を繰り返し、だんだんひどく

なっていました。す。きちんと発作を予防し、気管支の炎症を長期に予防することで、本当によくありません。その治療を積極的ゼロレベ

### アトピー性皮膚炎

以前は15歳以下の子どももの20%くらいに大なり小なりのアトピー性皮膚炎が見受けられました。最近はずっとその割合が減って13%以下になり、重症の人はあまりいなくなりま

した。よくなった理由として、家庭環境がかなり清潔になったこと、卵など悪化する可能性のある食物を自主的に控えるお母さんが多いこと、そしてもう一つはお母さん方が抵抗な



# 保育所の枠を超え、地域全体で子育て支援 親子で一緒に遊んで 子育ての輪を広げよう

ちょっとしたことで悩みを抱えてしまいがちな乳幼児の育児家庭を支援する取り組みが広がっています。未就園児の親子を、保育所の保育士と地域ボランティアでサポートする「白方保育所多度津子育てふれあいセンター」の活動を取材しました。



白方公民館で行われた出前保育の様子。初めは恥ずかしがっていた子どもも、いつの間にかみんなの前で歌を披露するようになりました



親子で一緒にペーパーアート作り。完成品は子どもの成長過程を実感できる記念品になります

## 公民館を利用した「出前保育」

多度津町西白方の白方保育所は、同町の地域子育て支援拠点事業として「多度津子育てふれあいセンター」を開設。町内の公民館で実施する「出前保育」のほか、園庭開放や読み聞かせなど、未就園児の親子を支援する活動を毎日行っています。

出前保育は、同町の白方公民館

と四箇公民館で、およそ3年前から毎月1回ずつ行っている子育て支援活動。町内だけでなく、丸亀市や普通寺市からも集まってくる園外の0歳〜3歳児の親子を、同保育所の保育士3人と地域のボランティア数人が見守ります。

参加する親子は20〜30組。子どもたちは、体を動かしながら歌ったり、お絵描きしたり。仲良くなったり、お友達とステージを駆け回る子どもの姿も。子どもの背中には、ゼッケン代わりに名前を書いたシールを貼り、大人が名前を呼んであげること、初対面でも距離がぐっと縮まります。活動を通して子どもたちは、おもちゃを共有することや、年齢の大きい子どもが小さい子どもの世話をすることが自然に身に付けていきます。

## 育児の悩みや不安を分かち合える環境

支援活動は、子どもたちが楽しく遊べるのももちろん、お母さんたちが子育てをしながら抱えている悩みや不安を、お互いに分かち合うことにも役立っています。

「特に小さい子どもを育てるお母さんは、どうしても家にこもりがち。同じ立場の方と話をすることで、安心できるのでは」と専任保



遊んだあとは、栄養士の手作りおやつをいただきます。有機野菜や豆乳を使ったヘルシーなおやつは大好評です

育士の大西奈保子さん。ちょっとしたことで悩んだり、子育てのストレスを抱えてしまうお母さんが、雑談や育児の専門家への相談を通して、ほっとできる場にもなっています。親同士・子ども同士の、年齢や地域の枠を超えた出前保育ならではの交流があちこちで実現しているようです。

保育所の開所時間内は子育て相談に電話や面接で対応してくれるほか、保育所の行事に参加したり、園庭で遊んだりすることもできます。携帯電話のアドレスを登録しておく、前もって日程や活動内容がメールで配信され、自由に参加可能。詳細は、公民館などで配布される「びよびよだより」で確認できます。

# 地域の民話を語り継ぐ 手作り大型紙芝居

文部科学省の研究の一環として、観音寺市内の公立の8園が、各地域の民話をもとに紙芝居を作成しました。中でも一ノ谷幼稚園では、独自の音楽やナレーションを加えた紙芝居を完成させました。



おじいさんとの会話や歌の練習をする園児たち

てこの民話をテーマに紙芝居を制作。同市中田井町在住の画家、石川彰造

さんが見守る中、園児や保護者、園児の兄や姉である小学生らが協力し、縦80センチ×横1メートルの大型紙芝居を完成させました。地域のお年寄りや小学生を招待し、保護者による上演も行われました。

今年度初めての上演後、保護者の中から紙芝居に合わせた歌を作ろう

という声上がり、作詞、作曲をそれぞれ有志が担当。さらにストーリー性を持たせるために、紙芝居の前後に孫と祖父の会話を付け加え、現在の形になったのです。

**民話とともに  
紙芝居を残していきたい**

「当初は幼稚園が計画し、活動を進めていきましたが、保護者の積極

的な働きかけのおかげで、一つの紙芝居が少しずつ大きく成長しました。地域の方にも好評で、今では上演の依頼もあるんですよ」と園長の堀川昭子さん。あれこれとアイデアを出しながら紙芝居制作にかかわる保護者の姿を見て、園児たちの中にも自分たちの住む地域を大切にしようという気持ちが芽ばえているようです。

今年度3度目の上演を控え、準備や練習にも熱が入っている様子。「ふかい池のおくのおく／大きなだいじゃがすんでたと…」。紙芝居の雰囲気にはぴったりで、どこか郷愁を誘う歌は、子どもたちも大好きなのだとか。現在活動の中心になっている保護者の子どもが卒園するのを前に、テーマ曲やナレーションをレコーディングするなど、保存にも力を注いでいます。



それぞれの感性が生かされた、色鮮やかな紙芝居。切り絵で縁取りするなどの工夫も見られます

## 制作から上演まで 大切に作り上げた紙芝居

観音寺市・一ノ谷地区に古くから伝わる民話「へびの池」。一ノ谷池の魚を独占した庄屋が、池の守り神である蛇によって改心したというお話は、地域住民に代々語り継がれてきました。

一ノ谷幼稚園では2007年夏、保護者に呼びかけ、3日間をかけ